
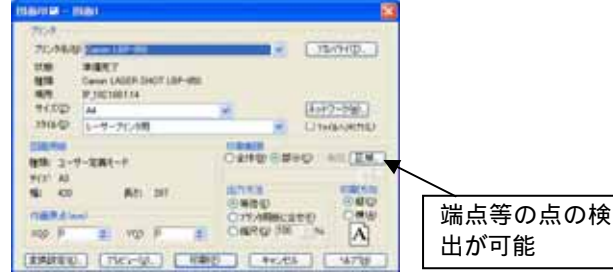
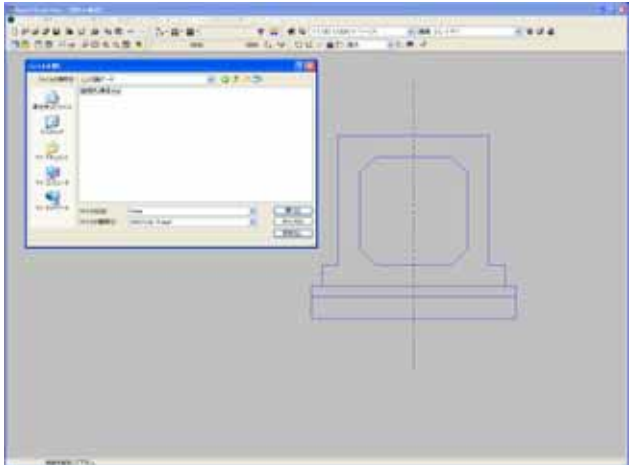
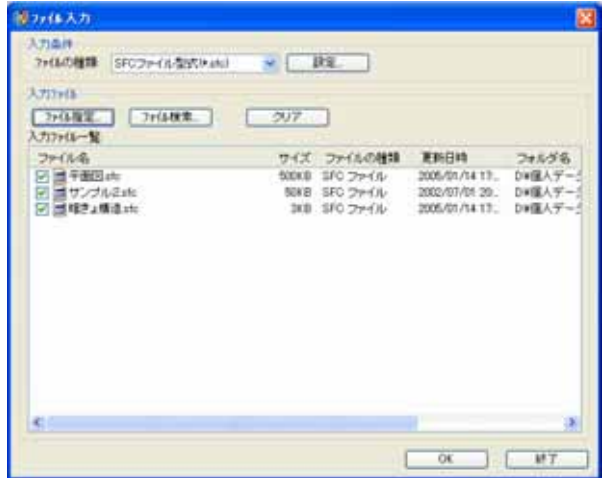
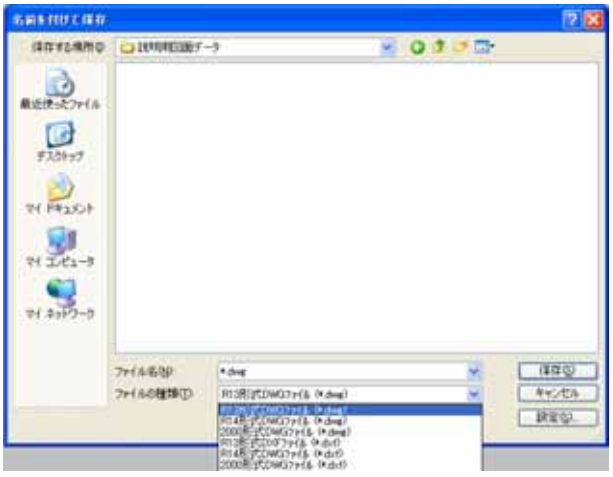
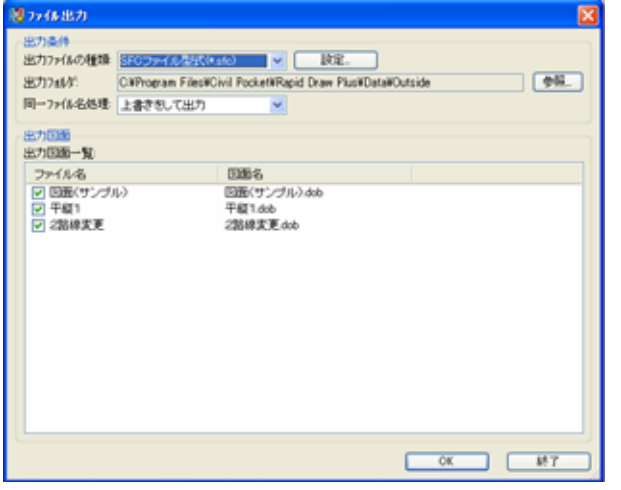


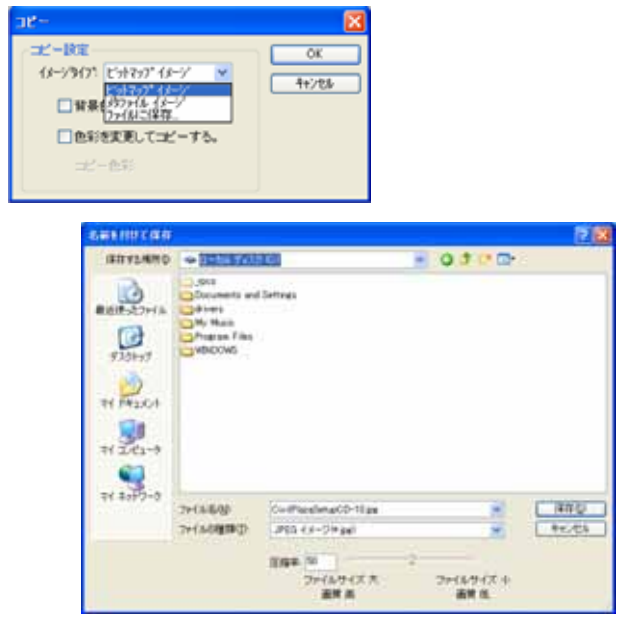



CivilRapid、RapidDraw、RapidDrawPlus ver5.0 追加機能・変更内容一覧

Ver5.00 (Release2)

基本部(作図編集コマンド)		
コマンド名称	追加内容	画面
【印刷プレビュー】	・印刷プレビューの背景色を[変換設定]のスタイル毎に設定することができるようになりました。	
【印刷メニュー 部分印刷】	・部分印刷での範囲指定で端点等の検出を可能にしました。	
【ファイルメニュー ファイル入力】	・他のファイル形式の図面ファイル入力時に、読み込みを行ったファイル名を図面(dwg ドキュメント)のファイル名に自動設定	
【ファイル入力メニュー 一括入力】	・sfc、p21、dxf、dwg、jwc、fig形式のファイルの複数の図面データを一括入力可能な[ファイル一括入力]コマンドの追加。	
【ファイル出力メニュー DWG出力】	・DWG出力でDXFのR13、R14、2000形式で出力。	

<p>【ファイル出力メニュー 一括出力】</p>	<p>・現在作業中の図面を一括でsfc、p21、dxfまたはdwg形式のファイルに出力可能な[ファイル一括出力]コマンドの追加。</p>	
<p>【ファイル一括変換】</p>	<p>・指定したファイル形式の図面データファイルを、他のファイル形式の図面データファイルに一括変換可能な[ファイル一括変換]コマンドの追加。 1)dob 形式のファイルをsfc、p21、dxf、dwg形式のファイルに変換。 2)sfc形式のファイルをdob、p21形式のファイルに変換。 3)p21形式のファイルをdob、sfc形式のファイルに変換。 4)dxf、dwg、jwc、fig形式のファイルを dob 形式のファイルに変換。</p>	
<p>【図面の比較】</p>	<p>< 変更内容の確認 > ・指定した元の図面および比較図面の二つの図面をSXF形式により比較を行い、元の図面に対して変更(追加、変更および削除)された要素を追加(各変更状態により色彩・線種・線厚を変更)した状態の図面を表示する機能を新たに追加しました。また、この図面を、SFC形式のファイルに出力、および、変更内容の結果をHTML形式のファイルに出力する事も可能です。</p>	
<p>【編集メニュー コピー】</p>	<p>・[コピー]コマンドにファイル保存機能を追加し、JPEG、GIF、TIFF、PNGファイル形式に対応。</p>	
<p>【編集メニュー ページ属性編集】</p>	<p>・[ページ属性編集]コマンドによりページ単位でレイヤの[編集]、[表示]、[凍結]を設定可能。</p>	

<p>【製図基準メニュー 製図基準レイヤ名変更】</p>	<p>・[製図基準レイヤ名変更]コマンドで、変更されたレイヤのみの責任主体を変更する機能の追加。</p>	
<p>【文字編集メニュー 単独文字変更】</p>	<p>・文字要素単体の文字列、フォント、配置点タイプ、角度を変更可能な[単独文字変更]コマンドの追加。</p>	
<p>【構造図メニュー 暗渠】</p>	<p>・円形パイプの形状に[A-2 EW形]、[A-2 ENW形]、[A-6 EW形]、[A-6 ENW形]、[VP]、[VM]管の追加。</p>	
<p>【ツールメニュー ラスタ入力】</p>	<p>・[ラスタ入力]コマンドにGIF、PNGファイル形式を対応。</p>	
<p>【ラスタ編集メニュー ラスタ移動】</p>	<p>・ラスタ要素の回転時での表示で余白部分の非表示化。</p>	

<p>【点検出設定】</p>	<p>・点検出時の検出点タイプのツールチップの表示。</p>	
<p>【表示メニュー 全体表示】</p>	<p>・図面内存在する要素の最大矩形範囲を表示する[全体表示]割込みコマンドの追加。(表示モードには対応していません)</p>	
<p>【座標ツールバー】</p>	<p>・[座標]ツールバーに表示する座標値を検出点の座標を表示。</p>	
<p>【矢印キーによる移動】</p>	<p>・複写や移動等のコマンドで矢印キーにより移動表示が可能。</p>	